



市民が主役。

映画のあるまち



多くの映画人から支持 市民が育む高崎映画祭

市長 高崎映画祭も今年で30回目を迎えますね。地方都市の開催としては多くの受賞者が来てくれますよね。2年前のことですが主演男優賞を受賞された福山雅治さんにトロフィーをお渡ししたことがありました。

志尾 福山さんは出席いただけるとは正直思っていなかったのですが、是枝監督が強く勧めてくださったそう。関係者の皆さんからは「おもてなしの心がとても良い」「高崎の映画祭は本当に映画の好きな人が選んでくれている」という言葉をいただきます。
市長 それはうれしいです

ね。これも志尾さんをはじめ皆さんが作った人間関係だと思います。長い間の信頼があるから来てくれるんですね。久保さんは以前から映画祭のお手伝いを？

久保 はい。第19回の映画祭からです。

志尾 久保さんは、平成16年にシネマテークたかさきが開館したとき、お客様として映画を見に来てくれていたんですよ。ある日、映画祭のボランティアスタッフをやりたいと言ってくれました。

久保 前々から手伝いたいと思っていました。その後シネマテークのアルバイトをするようになり、フィルム・コミッション(以下FC)をやってみないかと声をかけられて…。

市長 そういう若者の思いには共感します。最初は市役所がFCの拠点でしたが、映画を支える市民の手にあつたほうがいいと思ひシネマテークにお願ひしました。山田さんが映画祭に関わったのは？

山田 はい。市外の映画館でアルバイトをしているのですが、チラシでシネマテークのことを知り「こういう映画もやってるんだ」と思いました。高崎FCや映画祭のことも知って、今年からボランティアスタッフとして参加しています。まだ専門的なことは分からないのですが。

市長 ボランティアでこういう手伝いをするというのは、若者の志の世界ですね。私も映画が好きで、若いころには映画監督になりたいと思っていましたからよく分かりますよ。そんな若者を心から応援したいなあ。映画をまちづくりの柱の一つにしたいと思っ

ているんですよ。
志尾 すごい！ありがとうございます。

映画を心底愛する人々 高崎FCのおもてなし

市長 高崎で映画やテレビ番組の撮影をする機会が多く

なっていますね。年間70本ほどあると聞きました。
志尾 そうですね。私も積極的に映画関係者に撮影の働きかけをしています。一度撮影に来た関係者が「高崎が良かった」と口コミで広げられることもあるんです。

市長 きめ細かい配慮やおもてなしの心があるからなんだと思います。高崎FCの皆さんには、エキストラを募って応援したり、撮影地となる商店街など周囲の了解を得たりと活躍していただいています。現在は久保さんが中心となって活動されているんですね。エキストラなどは集まりますか？

久保 はい。登録していただいている中でも映画好きの50〜60歳代の人たちはすぐに集まってくれます。また例えば、中央銀座通りや電気館周辺の撮影などでも、区長さんをはじめ皆さん協力的です。

市長 それはありがたい。映画に情熱がある方が多いのでしようね。昨年高崎で撮影された映画「セーラー服と機関銃」の試写会が2月6日に電気館で開催されました。その後中央銀座通りで高校生が「ここあの時の舞台なんだよ」



富岡賢治市長

若いころの夢は映画監督。映画に対する情熱は熱く市民が育ててきた高崎の映画文化を支援している。



志尾睦子さん

八幡町在住。第13回から高崎映画祭にスタッフとして参加。高崎映画祭プロデューサーを務める。



山田理穂さん

萩原町在住。大学在学中から映画館でアルバイト勤務。今年から映画祭のボランティアとして参加。



久保智彦さん

足門町在住。高崎フィルム・コミッションで映画やドラマの撮影支援対応業務を行っている。

と話していたのを聞いてうれしく思いましたね。
山田 試写会の際には電気館に高校生がいっぱい来てくれて、「こんな劇場があるんだ」と若い人に電気館を知ってもらう良いきっかけになりました。映像の中知っているまじの風景や最後に出てくる「高崎」の文字を見つめるのが楽しかったりもします。
市長 そうですね。電気館では2月14日もプレ映画祭が行われましたが、そこにおいでいただいた山田洋次監督が「市民から引き継いで市が電気館を運営することはすばらしいことだ」とおっしゃっていましたと聞きました。
志尾 そうなんです。あと「昔ながらの本屋さんが残っているまちは大丈夫」ともおっしゃっていました。地方都市はシャッター街になっていることが多い中で、中央銀座通りには「昼間開いている本屋さんがある」と興味深そうにご覧になっていましたね。
久保 他にも映画関係者などから電気館のような施設は関東ではもう残っていると、東ではもう残っていないと聞きます。上映の場としても撮影の場としても素晴らしい施設だと。

市長 電気館のような古い映画館は無いんですね。
志尾 はい。まして行政が支援しているのはまれです。
市長 この電気館は所有していた方の「映画館として残してほしい」という思いを継いで、志尾さんが中心となって、映画を心底愛する皆さんに切り盛りしていただいています。確かに経済的な負担はあります。でもそれをやるのが行政だと私は思っています。
**市民の偉業シネマテーク
まちに文化の土台を創る**
市長 音楽センターは、その費用の3分の1を「ときの市民」が寄付をして建設されたものですが、茂木さん(※)が孤軍奮闘したシネマテークもそれと同じくらいの偉業だと私は思いますよ。
志尾 映画館を造るとなったときに資金的にも大変だったの、いろいろな人のところにお願ひに行きました。初めはなかなか大変でしたが…。映画祭をずっと応援してくださっている方々をはじめ、多くの皆さんから支援をいただくことができました。
市長 シネマテークは他の映画館ではなかなか取り上げな



昨年の高崎映画祭授賞式の様子。毎年監督や俳優などの受賞者が舞台上に華を添え、大勢の観客が来場する



2月6日に電気館で行われた映画「セーラー服と機関銃」の試写会には、監督の前田弘二さんと主演の橋本環奈さんも出席した